



岡山青年部たより

ビルクリーニング技能競技岡山大会開催 岡山県代表選手が決定しました!

2月13日(金)「平成26年度ビルクリーニング技能競技岡山大会」が岡山商工会議所において開催されました。
この大会は2年毎に開催され、ビルクリーニング技能士が床表面洗浄作業の技能を競う大会で、6月5日に松江市で開催される「第13回ビルクリーニング技能競技中国大会の岡山県代表選手(3名)」を選手とする大会です。

今回は4社から7名の出場があり、3名の審査委員による審査の結果、入賞者は以下のとおりとなりました。

1位 北濱 宜子選手 公益財団法人岡山県愛染会

2位 藤原 甲太選手 株式会社サピックス

3位 上橋 理浩選手 株式会社ジェイアール西日本岡山メンテック

入賞された皆さん、まことにめでとうございました。
中国大会での更なるご健闘を祈念いたします。

また、惜しくも入賞を逃された皆さんには、それぞれの職場で培われた技能、技術を十分発揮され、一層ご活躍されますことを祈念申し上げます。

早朝から応援に駆けつけていただき、終始熱心に観覧をいただきました皆さん、また、本大会にご協力いただきました関係各位の皆さんには、心から感謝申し上げます。
(広報委員会)



今回ご出場選手による記念撮影

後列左 宮下副部長

⑤ 米田浩選手 太平ビルサービス 株式会社岡山支店

② 定延伸伍選手 株式会社サピックス

⑦ 森脇茂樹選手 株式会社JR西日本 岡山メンテック

④ 池田浩子選手 株式会社JR西日本 岡山メンテック

前列左より ① 上橋 選手 ③ 北濱 選手 ⑥ 藤原 選手

去る、平成27年2月13日(金)岡山商工会議所102号室でビルクリーニング技能競技岡山大会が開催されました。
今回は出場選手7名が「弾性床材の表面洗浄床維持剤塗布仕上げ作業を行い、競い合いました。
作業面積は4m×4mの16㎡で、標準時間17分、作業項目は、作業準備・除塵・洗浄・汚水取り・仕上げ拭き・乾燥・床維持剤の塗布・後始末で行いました。
選手皆さんは、緊張しながらも練習の成果を十分発揮し、素晴らしい競技を行ってくださいました。
その結果、優勝は公益財団法人岡山県愛染会の北濱宜子さん、第2位は株式会社サピックスの藤原甲太さん、第3位は株式会社ジェイアール西日本岡山メンテックの上橋理浩さんでした。
3名には岡山県代表として、平成27年6月5日の第13回ビルクリーニング技能競技中国大会(島根大会)に出場していただきます。
岡山大会とは作業内容が少し変わりますので、本大会まで練習をし、上位に食い込み、全国大会に出場してもらいたいと思います。
最後に、今大会に選手を送り出してくださいました各企業様、会場運営してくださいました青年部の皆様ご協力ありがとうございました。

審査委員 新木 快哲

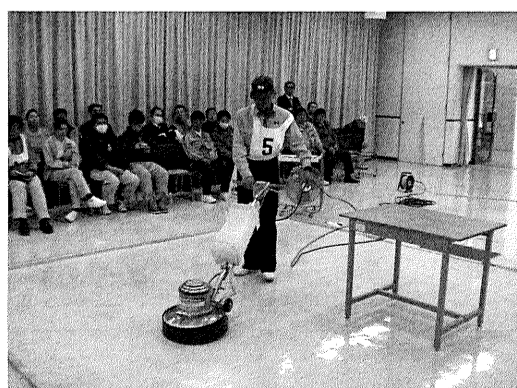
当日、審査員を務められました新木さんより原稿をいただきましたのでご紹介いたします。



定延選手ポリッシャー操作



池田選手のワックス塗布



米田選手のポリッシャー操作



森脇選手のバキューム作業

大会後に代表選手に聞きました			氏名
正確な作業を意識しました。特に資機材を物にあてない点。	作業にメリハリをつけるよう意識しました。	練習どおりできるだけ、ていねいな作業。	本日、競技中に意識したことは何ですか?
作業にメリハリをつけて見ている人にアピールしたい。	仕様が変わり、難しくなるので、よりていねいにかつ速く……。	リズムカルな水拭き!	中国大会でのあなたの見せ場は何ですか?
とにかくパフォーマンスで目立ちたい!	3位入賞	北海道に行きたい!(2位まで)	中国大会での目標は?

青年部全国大会in北海道に行ってきました

第19回ビルメンテナンス協会青年部全国大会in北海道が昨年10月23日に札幌市の札幌プリンスホテル別館で開催されました。

岡山青年部からも小川部会長のほか有志が参加しました。当日会場には、全国23道府県から青年部会員が集い、「絆」をテーマに情報交換を行い、交流を深めました。

大会式典では、(一社)北海道ビルメンテナンス協会の山田春雄会長があいさつされ、業界と青年部の発展に期待を寄せられました。

また、講演では、フリーアナウンサーの塚なお氏から、経営者のコミュニケーションを体験するなど内容の濃い全国大会となりました。

(広報委員会)
参加された永谷副会長より原稿をいただいておりますので、掲載します。

ビルメンテナンス協会青年部全国大会in北海道に参加して

岡山青年部 副副会長 永谷 宏

北海道訪問は、現在まで高校時代に「はまなす国体」があり、大学時代に「インカレ」があり、この度の青年部全国大会で三度目の訪問になります。今回は「絆」がテーマであり、そこに何が生まれるのか。何を育てるのか。等様々な思いを描いておりました。

新たな出会いが勿論ですが、天災等による想像を超えた人的被害を経験した地域だからこそ表現できる「絆」であるように感じました。

中でも人を動かすという堺先生の講話は非常に有難い時間でした。私は現在高校生を指導していますが、競技はハンドボールです。

今年7月より週末と祝日のみですがコーチとして出来る限りの時間を費やしています。

自身の指導経験の不足は否めないで、色々な指導者に教えて頂いております。

どういふ伝え方をすれば伝わるのか。優しいだけでも伝わらない。厳しいだけでは伝わらない。

頭で理解できなくても言葉で伝えることの難しさにまさに直面している最中でしたので、人を動かすことがどういふ意味を持つのか少しでも認識できる貴重な時間でした。

また、社会人としての自分と向き合えた時間でもありました。

人が動くことで「絆」が生まれるのか。解釈は三者三様であり、自身はまだまだ若輩者で社会に通用していかないと感じる講話でしたが、少し姿勢を変えることで、より成長できることを感じる時間になりました。

堺先生の講話とは少しかけ離れた話になりましたが、少しマンネリ気味の自分には刺激のある講話であり、非常に感謝しております。

北海道青年部新世紀会の皆様、また関係者の皆様、本当にありがとうございました。

北海道ビルメンテナンス協会の益々の発展を祈念しております。



第19回ビルメンテナンス協会青年部全国大会 in 北海道 平成26年10月23-24日 於:札幌プリンスホテル 国際館パミール

平成26年度 労働安全衛生大会について

平成27年2月24日、岡山商工会議所405会議室において平成26年度

(一社)岡山ビルメンテナンス協会労働安全衛生大会が開催されました。

その大会で講師を務められました山崎事務局長に原稿を頂きましたので掲載します。

労働安全衛生大会の収支改善について

(一社)岡山ビルメンテナンス協会

ビルメンテナンス業の労災収支状況によると岡山県は収支率が平成23年から2年連続全国ワースト5位となり不名誉な結果となっております。(表1)

本協会において、労働災害収支の改善に伴う取組みの一つが2月24日に開催した労働安全衛生大会です。

本大会への県知事登録1号・8号企業の参加をいかに高めていくかが課題となっております。

本年度は岡山労働局及び岡山県に労働安全衛生大会の後援を賜り、行政一体となった開催を計画するとともに、岡山労働局基準部長から「労働安全衛生大会への参加勧奨の案内を企業に対して発出した結果、予定していた定員(70名)に近い参加となりました。

本大会において「ビルメン業における労働災害の現状及び収支改善について」を紹介させていただきます。

先ず、労働保険の現状では、

1. 労働保険新規受給者について(表2)

岡山県についてみると、労働者数は前年より441人増加しています。

また、労働保険の新規受給者数は92人、平成21年から毎年増加しており、最も受給者数が多かった前年より11名も増加し、引き続き気を引き締める必要があります。

一方、労働者数に占める新規受給者の割合をみると、数値が平成23年・24年と2年連続上がっています。

特に、労働事故による死傷及び大きな事故が要因と考えられます。

2. 労働災害発生の特徴について

岡山県のビルメン業の労働発生状況(平成21年~24年)の特徴は次の通りです。

① 年齢別には50歳以上の高齢者が全体の約70%を占めております。(表3)

② 災害種類別には「転倒」(39.6%)及び「墜落・転落」(27.5%)が多いことです。

③ 床面が洗剤等で滑りやすく水で濡れた状態になっていた「仮設物・建築物・構築物」(84.4%)を占めています。

従って、ビルメン業は人の作業行動に伴う事故が多く発生している状況です。

3. 通勤災害について

ビルメン業では職場での労災以外に通勤途上での事故が多く発生しています。

特に、「転倒」による事故うち通勤災害による転倒が転倒全体の約25%を占めています。

特に、自転車・バイク・歩行などで路面の凍結等に起因する転倒事故です。

次に、収支改善について以下の2点を重点に実施します。

1. 労働保険収支率の低減について

岡山県の収支率は平成22年度が25.4%(ワースト3位)、平成23年度が26.4%(ワースト5位)、平成24年度が26.7%(ワースト5位)と毎年悪化しています。

平成27年は収支率27%(平成24年度実績に対して20%を目標とします)重点実施方針は以下の3点です。

① 安全パトロールの巡回(毎年会員2社)

② 労働安全衛生大会の出席率向上

③ 毎月、労働事故報告を会員から事故の発生状況をフィードバックして安全意識を高め労働災害の減少や職場環

2. 労働保険料収納率の向上

岡山県の収納率は、平成22年度が93.1%(ワースト19位)、平成23年度が92.2%(ワースト16位)、平成24年度が93.9%(ワースト21位)となっております。

平成27年は収納率100%を目標とします。

最後に、労働事故の防止活動を強めていただき、更には収支率及び収納率の改善に向けて、会員企業の積極的な取り組みとご協力をよろしくお願い致します。

事務局長 山崎 俊昭

(表1)H24年度収支率 都道府県別ワースト5

愛媛	374.1%
熊本	353.2%
高知	318.8%
大分	315.3%
岡山	296.7%
全国平均	122.6%

(表2) 労働保険新規受給者数の推移

区分	平成22年	平成23年	平成24年	
全国	労働者数(人)	1,058,974	1,043,142	1,037,166
	新規受給(人)	8,738	9,465	9,524
	割合(%)	0.83	0.91	0.92
岡山	労働者数(人)	7,079	6,736	7,177
	新規受給(人)	64	81	92
	割合(%)	0.90	1.20	1.23

(表3) 岡山県のビルメン業の年代別労働発生状況 (平成21年~24年の死亡および休業4日以上)

区分	~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60歳~	合計
人数(人)	0	8	7	12	14	50	91
割合(%)	0	8.8	7.7	13.2	15.4	54.9	100

平成26年度 中国地区全体協議会について

平成26年度(公社)全国ビルメンテナンス協会中国地区本部主催の中国地区全体協議会が平成26年9月25日(木)に倉敷市のせとうち児島ホテルで開催されました。

青年部からも10名がお手伝いを兼ねて参加し、フアジャーノ岡山代表取締役木村正明氏の講演を拝聴しました。

講演のテーマは本来「アベノミクスの本質」でしたが、受講者の反応を見ながら、Jリーグの話題から経済や各都道府県の豆知識など、楽しい内容で楽しませていただきました。

その後、全国ビルメンテナンス協会の一戸会長も出席された懇親会は、各県協会長の楽しいスピーチ、児島由加太鼓のアトラクション等、賑やかなものとなり、有意義な全体協議会となりました。

参加された皆様、お疲れ様でした。

(藤原)